



## 格助詞「に」の用法について(二〇〇三年度卒業論文 要旨集)

|       |                                                                                                      |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| メタデータ | 言語: Japanese<br>出版者: 北海道教育大学国語国文学会・札幌<br>公開日: 2012-01-27<br>キーワード:<br>作成者: 金子, 竜也<br>メールアドレス:<br>所属: |
| URL   | <a href="https://doi.org/10.32150/00007209">https://doi.org/10.32150/00007209</a>                    |

## 格助詞「に」の用法について

日本語学研究室 九〇三九 金子 竜也

本研究の目的は、他の格助詞との置き換えが可能な場合に注目して、「場所」の用法の格助詞「に」と他の格助詞との差を明らかにし、格助詞「に」の特徴を明らかにすることである。格助詞「に」と「で、から、へ、を」及び「無助詞格」とを、置き換えが許される例文を用いて比較し、何らかの違いがないかを分析した。

「で」との置き換えでは、「に」は「場所」に重点を置くという意識が強い。また、「から」との置き換えでは、「に」は有から無へ、または無から有へと存在が変化する場所を表すという特徴がある。「へ」との場合、「移動」の意識の有無が選択を左右し、「を」との場合では、動作の終了場所や存在の変化する場所としての意識が強いとき、「に」を取るという特徴がある。「に」と「無助詞格」では、「無助詞格」は、話し言葉でしか用いられないという違いが見られた。

置き換え表現を通して「に」の特徴を見ていく中で、置き換えが許される場合でも、まったく同じ意味や表現意識では用いられず、何らかの違いがあることがわかった。また、置き換え表現において、他の格助詞との差が見いだされたことから、「場所」という概念が、「に」の用法の中で重要なものであると改めて考えることができた。